

令和4年度事務事業評価（令和3年度事後評価）

経済部

所属名	事務事業名	ページ番号
観光振興課	浮立の里展示館管理運営事業	2
観光振興課	観光協会事業	3
観光振興課	広域観光事業	4
観光振興課	観光広報PR事業	5
観光振興課	観光情報発信拠点設置・運営支援事業	6
観光振興課	観光商品開発事業	7
観光振興課	観光ボランティア育成事業	8
観光振興課	佐賀市北部の魅力発見・発信事業	9
観光振興課	インバウンド観光推進事業	10
観光振興課	アジアの観光客おもてなし推進事業	11
観光振興課	コンベンション誘致推進事業	12
観光振興課	佐賀城下ひなまつり事業	13
観光振興課	佐賀城下栄の国まつり開催事業	14
観光振興課	SAGAバルーンチャレンジシリーズ事業	15
観光振興課	古湯映画祭開催事業	16
観光振興課	三瀬高原キャンペーン	17
観光振興課	地区の各種まつり等開催補助事業	18
観光振興課	宿泊支援事業	19
観光振興課	SAGAつながるタクシー構築事業	20
観光振興課	バルーンミュージアム管理運営事業	21
観光振興課	大隈重信記念館管理運営事業	22
観光振興課	歴史民俗館管理運営事業	23
観光振興課	筑後川昇開橋維持管理事業	24
観光振興課	やまびこ交流館維持管理事業	25
観光振興課	観光情報発信会館維持管理事業	26
観光振興課	泉源管理事業	27
観光振興課	熊の川温泉衛の湯管理事業	28
観光振興課	やまびこの湯管理事業	29
観光振興課	温泉地活性化推進事業	30
観光振興課	熱気球大会開催事業	31
観光振興課	ECサイトによる市産品販売促進事業	32
観光振興課	シュガーロードPR事業	33
観光振興課	サガマチナカまつり開催事業	34

令和4年度 事務事業進捗報告シート

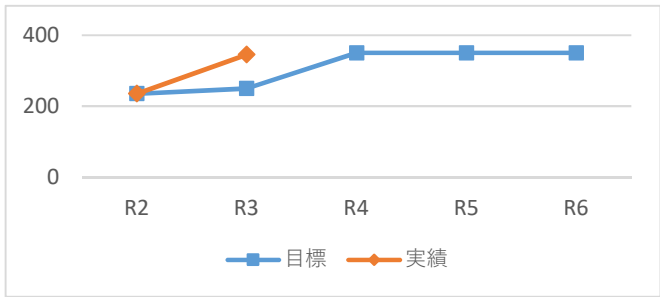
事務事業名	浮立の里展示館管理運営事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

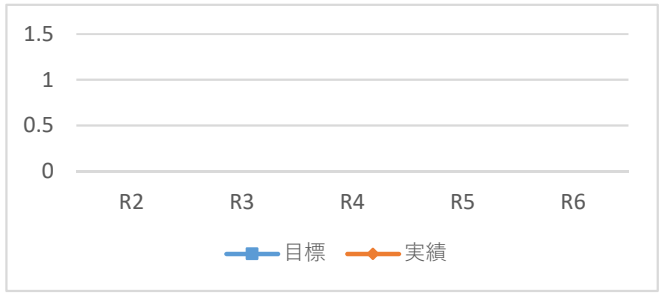
事業概要・目的	浮立に関する民俗上貴重な資料を収集し、保存及び展示を行い、文化的学習施設として市民や観光客へ紹介するとともに、これらの資料を伝承するため、展示館を設置する。				
事業の対象者	市民、佐賀市を訪れる観光客、市民伝統文化の伝承者				
令和3年度主な活動実績	浮立の里展示館の管理・運営を行い、来館者に市川地区を含む富士町内の5つの天衝舞を紹介した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,811	3,913			
うち佐賀市の負担額	3,793	3,883			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
235	250 345	350	350	350		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	浮立の里展示館は来館者数に対する1人当たりの占有面積も広いことから、ソーシャルディスタンスを保つことができ、コロナ禍前の来館者数（R1年度336人）まで戻りつつある。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍以前まで戻りつつある来館者数を今後も維持するために、周辺の歴史的資産や自然と連携した新たな事業展開を検討する必要がある。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光協会事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の観光振興及び観光誘客を図るため、佐賀市観光協会が実施する事業及び運営に要する経費の一部助成する。 観光客の利便を高めるため、佐賀駅構内観光案内所において観光案内等を行う。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和3年度主な活動実績	(助成による事業内容) ・観光商品・ツアーの造成、誘客セールスの実施、ホームページ・SNS・パンフレット等による観光情報発信、地域イベント開催支援、事務局運営及び管理 (観光案内所) ・市内観光・イベント等案内の実施、8:30~18時(土日祝17時) ※12/31~1/3除く				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	44,402	43,063			
うち佐賀市の負担額	44,402	43,063			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数(暦年) ※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358 3,011	4,438	4,519	4,603		

成果指標②						単位
観光案内件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
7,175	14,000 7,684	28,000	28,000	28,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により対外的なセールスやPR活動ができなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客が大幅に減少した。新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に合わせて、佐賀市を旅行先として選択してもらうための効果的な誘客、受入環境整備を図っていくための事業実施への支援を引き続き行っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	広域観光事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幅広い観光ニーズに対応するため、近隣の行政・観光団体等と連携し、広域的な観光資源を活用した誘客の展開を図る。（連携団体：九州観光都市連盟、佐賀県観光連盟、シュガーロード連絡協議会、佐賀広域観光等推進協議会、天山自然公園協議会ほか）
事業の対象者	観光客
令和3年度主な活動実績	連携団体への負担金を拠出し、団体が行う誘客セールス、情報発信、イベント等への参加・協力を行った。食を通じた観光振興を図る団体（佐賀市はシシリアンライスdeどっとこむ）が実施する、広域的な観光PRに要する経費への助成を行った。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,978	4,679			
うち佐賀市の負担額	3,978	4,679			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数（暦年）※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358 3,011	4,438	4,519	4,603		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により従来行われていた他都市での商談会等が中止となった。一部、デジタルスタンプラリーの実施など感染症対策を行いながらの周遊策の取り組みは実施できた。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により従来行っていた事業実施が難しかった。新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に合わせて、引き続き関係団体と連携しながら誘客等を図っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光広報PR事業	事業期間	平成 15 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	O1魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光客の誘致		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内の各種イベントや観光施設等の観光情報を、様々なメディアの媒体を活用しPRし、誘客を図る。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設看板等掲出物による広報PRの実施（7件） 新聞、雑誌掲載、WEB・SNSによる広報PRの実施（15件） TV、映像制作等による広報PRの実施（3件） シュガーロードパネル展などのPRイベントの実施（3件） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	14,791	14,549			
うち佐賀市の負担額	14,791	14,549			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数（暦年）※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358 3,011	4,438	4,519	4,603		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により対外的な広報PRができなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に合わせ、バルーンフェスタや佐賀城下ひなまつり等を中心に、エリアやターゲット層を意識した効果的な広報PRを行い、誘客につなげていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光情報発信拠点設置・運営支援事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	SAGA MADDOを設置・運営する佐賀市観光協会に対し経費の一部を助成し、観光客のニーズに沿った相談対応、旅の提案等ができる体制の構築、市及び県域の様々な観光・イベント情報の発信を行う。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和3年度 主な活動実績	【営業日時】9～20時（観光案内9～18時）※1/1除く 【事業内容】市内・県内観光案内、交通案内、ホームページ・SNS情報発信、ツアーの造成・販売、手荷物預かり、ガイド受付、プロスポーツ連携イベントの実施 【設備内容】観光案内カウンター、Wi-fi、携帯充電コーナー、フリースペース 【その他】さが県産品流通デザイン公社との共同運営（県産品展示・販売、テストマーケティング等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,000	28,500			
うち佐賀市の負担額	24,298	22,693			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光案内人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,834	2,000 1,118	2,500	3,000	3,500		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度に比べて観光案内人数が減少しており、目標人数に達しなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客が大幅に減少していることもあり、本来の来訪者の数ではないと思われる。新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に向け、市内観光関連事業者との連携・情報共有の強化、対外的なPRにより、佐賀の玄関口としての周知を図り、来訪者の増加と利用者の満足度向上につなげる。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光商品開発事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	観光誘客を図るため、市内の観光資源の整備・活用及び各種ツーリズム等の商品開発を実施した。				
事業の対象者	観光客				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア拠点開発に向けたキャンプ実証試験の実施（1回） ・サイクリング商品造成のためのモニターツアーの実施（1回）およびサイクリングマップ作成 ・佐賀市北部地区におけるバイク周遊促進のための商品造成 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,069	4,853			
うち佐賀市の負担額	4,069	4,853			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光商品開発数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	3 2	3	3	3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	サイクリングやバイク周遊を素材として商品開発を進めることができた。（このほかにも観光協会との連携により国の補助事業を活用した街あるき商品造成を実施）



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、地元事業者と連携し、コロナ禍で実践可能な観光商品開発に取り組む。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光ボランティア育成事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の様々な観光情報の提供とおもてなし精神あふれるきめ細かい案内ができる観光ボランティアを育成するとともに、活動しているボランティアのスキルアップを図る。				
事業の対象者	観光ボランティア希望者				
令和3年度 主な活動実績	佐賀市観光協会への委託により以下の事業を実施した。 ・定例会議、勉強会 11回 ・研修会（ガイド磨き上げ研修、新規コース検討・造成、視察研修等）19回				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	550	550			
うち佐賀市の負担額	550	550			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光ボランティアが案内した観光客数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
347	400 163	450	500	500		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響によりR 2年度に比べて観光客数が減少しており、目標人数に達しなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客が減少し、実際のガイド活動自体は機会が少なかったが、その分研修を充実し、新規コース造成等に取り組んだ。また、R 3年度から実施している佐賀市検定を活用し、新たなガイド確保につなげていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市北部の魅力発見・発信事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市北部地区の魅力を発見し、広く発信することで、福岡市など域外からの交流人口を増やし、観光面や産業面において地域を活性化させる。				
事業の対象者	県民及び福岡都市圏の住民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS、広報誌等での情報発信 ・旅行者や地元の人がつろげる交流スペースの運営 ・月例での映画上映会など、人が拠点を訪れる機会を創出 ・レンタサイクルにより、周遊してもらう機会を創出 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,450	3,450			
うち佐賀市の負担額	3,450	3,450			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
286	300 296	400	450	500		

Year	Target (目標)	Actual (実績)
R2	300	286
R3	400	296
R4	450	
R5	500	
R6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target (目標)	Actual (実績)
R2	0.5	0.5
R3	1.0	1.0
R4	1.5	
R5	2.0	
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	小規模のイベントを新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施したことや、ウィズコロナの機運の高まりから近距離旅行者が増加したことによるものと推測される。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、地域の魅力や出来事など、色々な観光情報を発信するとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、旅行者、イベント参加者、地元の人と一緒に楽しめる拠点づくりに取り組んでいく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

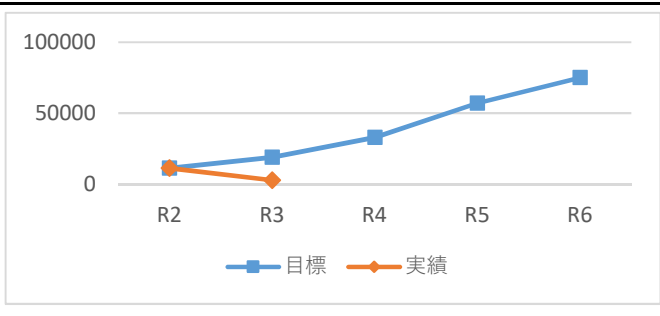
事務事業名	インバウンド観光推進事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

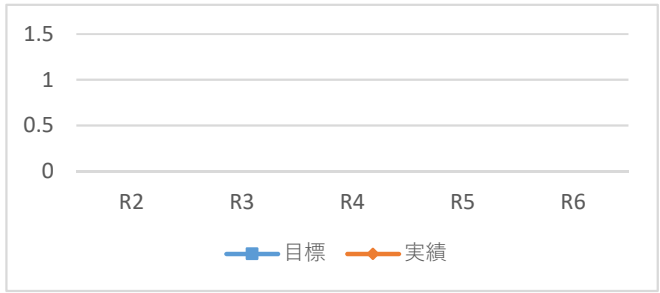
事業概要・目的	アフターコロナ期におけるアジアをはじめとした海外からの観光客を増加させるため、本市の観光情報発信や市内の受入体制を強化し、誘客促進を図る。				
事業の対象者	アジアを中心とした海外からの観光客				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティング（佐賀市PR動画広告配信等）による情報発信 再生回数：約105万回 インバウンド向け特設ウェブサイト運用、改修 スポット追加10カ所、SAGA MADDOのリンクを追加 商談会への参加（オンライン1回） リムジンバス（空港⇄バスセンター）Wi-fi設置による受け入れ環境整備（5台） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,361	7,520			
うち佐賀市の負担額	9,361	7,520			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市内外国人宿泊者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11,257	19,000 2,839	33,000	57,000	75,000		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大によりインバウンド観光客が激減したため、外国人宿泊者数は目標を大幅に下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
インバウンド観光回復に合わせて、佐賀市を旅行先として選択してもらうため、デジタルプロモーション等を活用した効果的な情報発信を継続していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	アジアの観光客おもてなし推進事業	事業期間	平成 28 ～ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の観光情報発信などを行い、認知度向上を図り、アジアの観光客の誘客促進に繋げる。				
事業の対象者	アジアからの観光客				
令和3年度 主な活動実績	ターゲットとなる国へのSNSによる情報発信を実施した。(従来実施の佐賀駅での観光案内対応は未実施) ・韓国人観光客への情報発信 (instagram/facebook 317件) ・中国人観光客への情報発信 (Weibo 454件) ・台湾向け観光情報発信 (instagram/facebook 124件) ・徐福プロモーション (徐福伝説をテーマとした誘客) の実施				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,052	3,488			
うち佐賀市の負担額	2,052	3,488			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市内外国人宿泊者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11,257	19,000 2,839	33,000	57,000	75,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大によりインバウンド観光客が激減したため、外国人宿泊者数は目標を大幅に下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
インバウンド観光回復に合わせて、佐賀市を旅行先として選択してもらうため、効果的なリアルタイムの情報発信方法として継続し、状況に応じて観光案内所における観光案内対応も実施していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

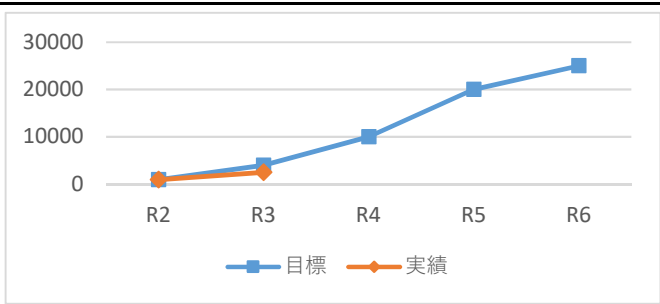
事務事業名	コンベンション誘致推進事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	コンベンションの誘致	

1 事務事業の基本情報

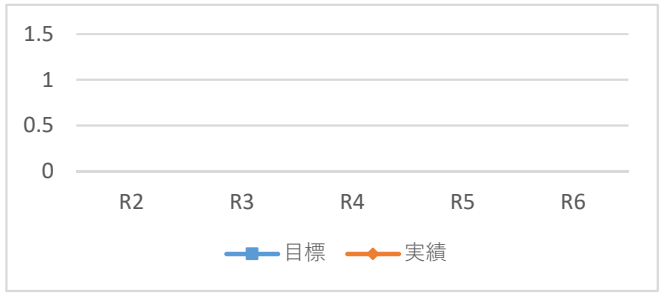
事業概要・目的	本市の宿泊者数を増加させ、観光客がもたらす経済波及効果の増大を図るため、佐賀市観光協会が実施する誘致活動や開催費助成等に要する経費の一部助成、PRノベルティ制作や会議等開催に向けた相談対応を行った。				
事業の対象者	市内で大会・会議等を開催する団体				
令和3年度 主な活動実績	(助成による事業内容) ・大会等開催支援助成 6件 (申請件数12件) ・コンベンション推進団体との情報交換 2回 (その他) ・観光PRノベルティ (エコバッグ) の作成 ・大会等開催相談対応 5件				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,244	3,762			
うち佐賀市の負担額	3,244	3,762			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会等開催支援助成を利用した宿泊者数 (延べ)						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
938	4,000 2,496	10,000	20,000	25,000		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により、対外的な誘致活動ができず、また大会等の開催自体も少なく、中止となる大会も多かった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に向け、誘致活動を継続し、特にR4年度にはサンライズパークアリーナが完成予定であるため、県や関係部署と連携した誘致活動を実施していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下ひなまつり事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	鍋島家伝来の雛人形や、佐賀錦、鍋島小紋の雛人形等を佐賀市歴史民俗館など歴史的に貴重な建物で展示し、佐賀の優れた生活文化をPRする「佐賀城下ひなまつり」の開催支援及びPRを行う。				
事業の対象者	市民、佐賀市を訪れる観光客				
令和3年度 主な活動実績	令和3年度「第22回佐賀城下ひなまつり」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催直前に中止となったが、準備等に係る経費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,444	6,783			
うち佐賀市の負担額	2	5,489			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	46,000 -	69,000	92,000	116,000		

成果指標②						単位
経済波及効果						百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	336 -	504	672	841		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うとともに、様々な媒体を通じて市内外に対して広く周知を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下栄の国まつり開催事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民総参加を目指す佐賀城下栄の国まつりについて、市民と行政、企業等が一体となって取り組むことにより、市民の交流や中心商店街への誘客による観光消費の拡大を図るため、開催経費の一部を「佐賀城下栄の国まつり振興会」に助成する。				
事業の対象者	全市民及び近隣市町住民（観客）及びまつりイベントへの参加者				
令和3年度 主な活動実績	令和3年度「第50回佐賀城下栄の国まつり」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となったが、中止広報費及び次年度に向けての取り組みに係る経費として、主催団体運営費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	386	1,578			
うち佐賀市の負担額	386	1,578			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	235,000	236,000	237,000	238,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍の中でイベントを開催するために、検温や消毒等の基本的な対応に加えた新型コロナウイルス感染防止対策の協議や、熱中症対策による開催時期の変更及び従来実施しているイベントの内容を見直すことも視野に入れつつ検討を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	SAGAバルーンチャレンジシリーズ事業	事業期間	平成 15 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	O1魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀国際バルーンフェスタ終了後の秋から冬にかけてのフライトシーズンにあわせ、ランキング方式のバルーン大会を4戦にわたって開催する。また、バルーン大会にあわせて朝市や熱気球係留体験搭乗を実施し、経済波及効果の増大を図っている。				
事業の対象者	北部九州、特に福岡都市圏を中心とした観光客数				
令和3年度 主な活動実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会規模を縮小し、全3戦の大会を無観客で開催した。 【第1戦】令和3年12月4日(土) ※荒天のため中止。 【第2戦】令和3年12月5日(日) 【第3戦】令和4年1月8日(土) ※バルーン朝市は中止。熱気球係留体験搭乗は、協賛企業限定で実施。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,678	1,980			
うち佐賀市の負担額	1,678	1,980			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	5,500	6,000	6,500	7,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により無観客での開催となった。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍の中でイベントを開催するために、検温や消毒等の基本的な対応に加え、どういった形式で入場制限を設けるかなど新型コロナウイルス感染防止対策を協議する必要がある。また、従来実施しているイベントの内容(開催方法、他のイベントとのコラボなど)を見直すことも視野に入れつつ検討を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	古湯映画祭開催事業	事業期間	昭和 59 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	毎年テーマを決め、テーマに沿った映画を上映する。上映する映画の監督や出演した俳優、スタッフをゲストとして招待し、映画の合間には映画の裏話などを直接聞くことができるトークショーやパーティーを開催する。近隣の温泉施設と連携を図ることで、誘客促進につなげている。				
事業の対象者	県内及び北部九州を中心とした全国の映画ファン				
令和3年度 主な活動実績	令和3年度「第38回富士町古湯映画祭」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となったため、中止広報費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	487	270			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
会場来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,800	1,900	2,000	2,100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、古湯・熊の川温泉街と連携するような企画内容を検討するとともに、様々な媒体を通じて市内外に対して広く広報を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬高原キャンペーン	事業期間	平成 20 ～ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	福岡市と隣接し、佐賀市の北の玄関口に位置している佐賀市三瀬村において、福岡県側からの観光客誘客を促進するため、専門の情報誌を作成し、三瀬村の観光資源を積極的にPRしている。同時に、スタンプラリーを実施し、キャンペーン加盟店、観光施設間の周遊性を高めている。				
事業の対象者	県内及び福岡市からの来場者				
令和3年度 主な活動実績	三瀬高原キャンペーン実行委員会が実施する、事業に要する経費の一部を助成した。 ・三瀬の観光に関する情報誌を作成し、三瀬村の観光資源のPR及びスタンプラリーを実施した。 (キャンペーン期間：令和3年7月17日～12月31日)				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000	1,593			
うち佐賀市の負担額	1,016	728			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
スタンプラリー参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,271	1,398 1,376	1,537	1,691	1,860		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響により目標の値には達しなかったものの、昨年度と比較して約100人増えている。これは、ウィズコロナの機運の高まりから近距離旅行者が増えたことによるものと推測される。



成果目標達成に向けた対応策等
三瀬地区にあるやまびこの湯の指定管理者が行うグランピング事業が好調で同地区への来訪者が多く見込まれることから、グランピング事業利用者に対して当キャンペーンへの参加を促すような工夫（スタンプラリー内容、広報など）に取り組む。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

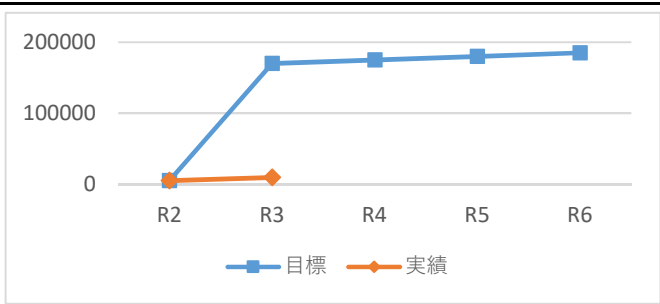
事務事業名	地区の各種まつり等開催補助事業	事業期間	昭和 57 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

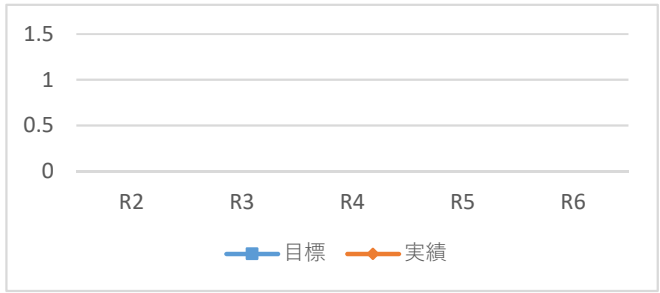
事業概要・目的	市内各地で開催される各種まつり、イベントに対して補助金を交付する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	【補助対象事業】 神野公園桜まつり、さが鑑真和上まつり、諸富産業祭、佐賀城下町イベント 三瀬ポップジャム、東与賀シチメンソウまつり（WEB配信） ※さが鑑真和上まつりについては、開催準備費の一部を助成。（イベントは中止） ※その他のイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,902	7,306			
うち佐賀市の負担額	3,902	4,806			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5,000	170,000 9,381	175,000	180,000	185,000		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	一部新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で実施されたイベントもあったが、予定していたイベントの半数以上が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。



成果目標達成に向けた対応策等
各地区のまつり主催者が、コロナ禍においても安全にイベントを開催できるよう、本市の新型コロナウイルス感染防止対策（検温や消毒等の基本的な対応など）に関する情報提供や必要に応じて協議の場を設ける。

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	宿泊支援事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画に おける位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民と一体となり地域経済の回復を促進するため、市民が市内の旅館等に宿泊する際の費用を一部助成する。 《助成額》 宿泊費の半額（1人1泊上限2万円）				
事業の対象者	市民、宿泊事業者				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R3年度	年度	年度	年度	年度
事業費総額	36,386				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
助成を受けて宿泊した宿泊者数					人	
R3実績	実績	実績	実績	実績		
8,502						
活動実績②					単位	
実績	実績	実績	実績	実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛要請等により、売上が落ち込んだ宿泊事業者に対し、安定的な経営に向けて支援するため、宿泊費の半額を助成し、経営回復に貢献した。また、対象者を市内限定としたことで、普段行かない近距離旅行への喚起にもつながった。</p>

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	「SAGAつながるタクシー」構築事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けているタクシー事業者を支援するため、タクシーを活用した観光促進の取り組みを行うとともに、市の観光の復活を図る。市内観光施設や飲食店をタクシー配車サービスにより結びつけ、小グループ単位での観光に合わせた新しいサービスを創設する。さらに、感染状況好転後のインバウンド客のタクシー利用促進にも繋がる仕組みを構築することにより、コロナ時代の新しい観光の在り方の創出を図る。				
事業の対象者	タクシー事業者、観光客				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	年度	年度	年度
事業費総額	10,290	6,551			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
貸切タクシー及び割引チケット利用件数					件
R2実績	R3実績	実績	実績	実績	
188	399				

活動実績②					単位
実績	実績	実績	実績	実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の影響により、国の観光支援事業である「GOTOトラベルキャンペーン」の利用停止等もあり、県外への広報も十分にできず観光客の激減状況が続いたが、マイクロツーリズムの推進により、県内、市内の施設や団体へ小グループでの利用を提案した。参加事業者へのアンケートでも「事業に参加してよかった、売上げ増につながった」などの声も多く、支援策として一定の効果はあった。今後は、国の観光支援事業の動きやインバウンド観光の回復に合わせて効果的な広報を行うとともに、旅行会社等へ情報提供を行うなどしてタクシーの利用促進へ努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バルーンミュージアム管理運営事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	観光客及び市民が年間を通じてバルーンに関する情報に触れることが出来る、バルーンをテーマとした国内初の常設の展示館を運営し、観光拠点として位置付けることにより、「熱気球のまち佐賀市」の魅力を広くアピールするとともに、観光振興及び地域経済の活性化に資する。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和3年度 主な活動実績	ゴールデンウィークイベント「盗賊王バルルンと巨大迷路2」(4月、5月) 他 「サンデーキッズ・ワークショップ」(6月、1月) 他 夏休みイベント「バルリンピック2021」(7月、8月) 他 開館5周年特別企画展「空と宇宙展」(10月、11月) 他 冬の特別企画「光のバルーンファンタジー&マーカー投げチャレンジ」(2月、3月) 他				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	62,437	68,523			
うち佐賀市の負担額	49,401	56,108			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
95,000	100,000 114,000	150,000	200,000	200,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、マイクロツーリズムの推進により、県内の修学旅行や近隣からの家族利用が増えたものと推測される。



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市内の観光施設及び歴史的施設との連携を深めるとともに、バルーンフェスタやひなまつり等のイベントと連携した誘客を行うことで、更なる成果向上を図る。今後も来館者数の回復(R1年度201,000人)に向けて魅力あるイベントや企画展などを開催しながら、効果的な広報に努め誘客促進を図りたい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	大隈重信記念館管理運営事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	世界的政治家として、また、早稲田大学の創設者として有名な大隈重信侯の誕生125年を記念して建設された大隈重信記念館を観光資源として、県内外から観光客を誘致するため、記念館の維持管理を行う。				
事業の対象者	佐賀市を訪れる観光客、市民、早稲田を目指す学生、在校生、卒業生				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第41回大隈祭開催（5/16） ・大隈重信没後100年記念特別企画展「大隈重信の円と縁」を実施 【第一部：円の誕生】（12/18～1/21）【第二部：郷土へ】（1/23～3/21） ・大隈重信侯101回忌法要開催（1/10） ・大隈重信記念館屋上防水改修工事の実施 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,011	29,572			
うち佐賀市の負担額	528	127			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設利用の満足度						%
R2 実績	R3 実績	R3 目標	R4 実績	R4 目標	R5 実績	R5 目標
75	76	77	79	81	83	

成果指標②						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 実績	R3 目標	R4 実績	R4 目標	R5 実績	R5 目標
5,524	8,222	8,000	10,000	12,000	14,000	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	施設の利用満足度については、目標には僅かに届かなかったが、概ね達成できている。入館者数については、R3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、R2年度と比べて回復の兆しを見せており、目標数を達成できた。

成果目標達成に向けた対応策等

佐賀市内の観光施設及び歴史的施設との連携を深めるとともに、バルーンフェスタやひなまつり等のイベントと連携した誘客を行うことで、更なる成果向上を図る。今後も状況を見ながら、効果的な広報に努め、市内外からの観光客の誘致に繋げる。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	歴史民俗館管理運営事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市歴史民俗館の有効かつ効果的な活用のため、イベントの実施など観光振興の拠点として集客を高めることを目的とした管理運用を適切に行う。 社会資本整備総合交付金を活用し、歴史民俗館のうち5館（旧古賀銀行、旧古賀家、旧三省銀行、旧福田家、旧牛島家）の改修工事を行う。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公募イベントの実施（10件） ・旧福田家及び旧三省銀行の改修工事 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	109,172	101,813			
うち佐賀市の負担額	64,039	61,348			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
年間入館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
38,725	100,000 40,514	180,000	180,000	180,000	

成果指標②					単位
公募イベントの実施数					件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
8	10 10	10	10	10	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	入館者数については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底やウィズコロナの機運の高まりから、昨年度と比較して約1,800人増えており、回復の兆しを見せている。

成果目標達成に向けた対応策等

アフターコロナを見据え、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、施設のイベント開催や施設の広報に努めることにより、観光客の誘客を図り、コロナ禍前の入館者数（R1年度82,454人）への回復を目指す。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	筑後川昇開橋維持管理事業	事業期間	平成 8 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	筑後川昇開橋の維持管理をはじめ、広報・イベントの開催などを行い、観光客の誘客を図る公益財団法人筑後川昇開橋観光財団に対し、その経費の一部を助成する。				
事業の対象者	佐賀県内外の観光客				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象としたスケッチコンテストを開催 ・写真・絵画コンテストを開催 ・新聞、テレビ、財団ホームページ等において各イベントの周知を実施 ・昇開橋グッズの販売 ・耐震診断・耐震計画業務を令和3・4年度の2年間にわたり実施。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,300	9,630			
うち佐賀市の負担額	6,300	9,630			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
遊歩道通行者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
42,934	45,000 41,613	48,000	50,000	53,000		

成果指標②						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
243	300 150	400	500	600		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響で、通行者数及びイベント参加者数どちらも、R 2 年度より減少し、目標を達成できなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
近隣にある、佐賀市観光情報発信会館（橋の駅ドロンパ）や新北神社をはじめ、東与賀干潟ビジターセンターひがさす、佐野常民記念館及び三重津海軍所跡など、佐賀市南部の観光資源とさらに連携を深め、目標達成に繋げたい。今後も状況を見ながら、イベントの実施や効果的な広報に努め、通行者数（R1年度54,337人）及びイベント参加者数（R1年度763人）の回復を目指す。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	やまびこ交流館維持管理事業	事業期間	平成 13 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	古くから継承されてきた民家等を保存活用するため、農機具その他の展示のほか、生活様式、農作業体験及び市内外の住民の交流を行う場として交流館の維持管理を行う。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和3年度主な活動実績	やまびこ交流館を維持管理し、宿泊客や見学客の受け入れを行った。 ・見学客 435人 ・会議室利用客 145人 ・宿泊客 104人				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,584	3,009			
うち佐賀市の負担額	5,418	2,871			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
378	507 684	676	845	929		

Year	Target	Actual
R2	378	378
R3	507	684
R4	676	676
R5	845	845
R6	929	929

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	入館者数については、前年度比180.95%、目標達成率134.91%と大幅に増加している。これは、R3年度から隣接地で開始したグランピング事業（やまびこの湯の指定管理者が実施）が好調であることに起因する。



成果目標達成に向けた対応策等
グランピング事業の開始時期がR3年度の6月から、R4年度は4月に早まり、グランピング利用者数のさらなる伸びが見込まれるため、グランピング利用者に対するPRなど、当館の認知度アップに継続して取り組む。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光情報発信会館維持管理事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市観光情報発信会館「橋の駅ドロンパ」は、徐福上陸の地として伝えられる諸富地区に位置し、国の重要文化財にしてされている筑後川昇開橋に隣接するなど、佐賀市南部地域の主要な観光拠点の一つである。この施設の維持管理を行い、効果的な観光情報の発信を行うことにより、広域的な観光の振興を図る。				
事業の対象者	佐賀市を訪れる観光客				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内特産品等の販売 ・いちご祭りを開催 ・QRコード決済（ペイペイ）取扱い開始 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,000	3,000			
うち佐賀市の負担額	2,629	2,630			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
86,764	88,000 85,793	89,000	90,000	91,000		

成果指標②						単位
観光情報発信会館での売上金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
103,498	104,000 101,454	104,500	105,000	105,500		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響で、来館者数・売上額どちらもR2年度よりも減少し、目標を達成できなかった。

成果目標達成に向けた対応策等

隣接する筑後川昇開橋や、近隣の新北神社をはじめ、東よか干潟ビジターセンターひがさす、佐野常民記念館及び三重津海軍所跡などの観光資源とさらに連携を深め、佐賀市南部地域の主要な観光拠点の一つとして、目標達成に繋げたい。また、観光情報発信会館としての情報発信力強化及び市内外の観光客を迎え入れる体制の確立が必要である。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	泉源管理事業	事業期間	昭和 43 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	泉源や各旅館・公衆浴場等への温泉給湯設備を適正かつ円滑に管理運営する。				
事業の対象者	旅館業者及び浴場業者等				
令和3年度 主な活動実績	旅館及び浴場施設、温泉スタンドへの温泉給湯を適正に行い、関係施設の円滑な運営に寄与した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,198	14,527			
うち佐賀市の負担額	0	4,631			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
温泉スタンド売上金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
394	433 433	453	472	492		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	温泉スタンドの売上金については昨年度と比較し、前年度比109.90%、約39,000円増で、目標達成率も100.00%となっている。



成果目標達成に向けた対応策等
温泉給湯設備の経年劣化に伴い必要な修繕が年々増えてきているが、今後も継続的に温泉施設が滞りなく営業できるよう適切な管理運営に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	熊の川温泉衛の湯管理事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	熊の川温泉衛の湯を設置し、地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図る。有限会社熊の川温泉ちどりの湯を指定管理者とし、施設運営を行っている。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和3年度 主な活動実績	施設の適切な管理を行うとともに、周辺施設との共同による季節に応じたイベントの開催や、それに応じた宣伝広告により集客増を図った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,006	15,564			
うち佐賀市の負担額	10,999	10,264			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
ちどりの湯入館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
54,573	60,030 57,303	62,758	65,487	68,216	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	入館者数については、施設の新型コロナウイルス感染対策の徹底やウィズコロナの機運の高まりから、昨年度と比較して約2,700人増えており、回復の兆しを見せている。



成果目標達成に向けた対応策等
開設当初に比べ、近隣への類似施設の増加等により、入館者数は年々減少傾向であるが、経営改善のため、近年強化しているSNS等を活用した広報活動やイベントの実施等を継続するとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して、入館者の増加に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	やまびこの湯管理事業	事業期間	平成 8 ～ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	やまびこの湯を設置し、地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図る。株式会社創裕を指定管理者とし、施設運営を行っている。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和3年度 主な活動実績	施設の適切な管理を行うとともに、季節に応じたイベントの開催や、それに伴った宣伝広告、指定管理者による自主事業であるグランピング事業により集客増を図った。また、館内の各種修繕等環境整備に努めた。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,918	23,543			
うち佐賀市の負担額	17,571	13,543			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
年間入館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
74,156	96,000 95,972	108,000	120,000	120,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	入館者数については、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底やウィズコロナの機運の高まり、さらには指定管理者による自主事業であるグランピング事業の開始により、昨年度と比較して約22,000人増えており、回復の兆しを見せている。



成果目標達成に向けた対応策等
入館者数のさらなる増加を図るため、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底及びグランピング事業の実施に加え、利用者数が減少傾向にある施設内のレストラン事業により一層注力することで、施設の魅力を総合的に高める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	温泉地活性化推進事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	温泉地ならではのイベントの開催や広報事業を行い、温泉地への誘客を図る。				
事業の対象者	市民、福岡市民				
令和3年度 主な活動実績	ホームページの更新業務、SNSの定期的な運用、温泉情報を含めた富士町の観光情報のパンフレットの作成、老朽化し情報が古い案内板の修繕等を行った。 ※令和3年度古湯・熊の川温泉花火大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,640	4,733			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
古湯・熊の川温泉旅館の日帰客数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
167,796	184,575 173,705	192,965	201,355	209,745		

成果指標②						単位
古湯・熊の川温泉旅館の宿泊客数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
53,317	58,648 54,895	61,314	63,980	66,646		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	日帰客数及び宿泊客数については、各旅館等の新型コロナウイルス感染防止対策やウィズコロナの機運の高まりから、昨年度と比較して日帰客数で5,909人、宿泊客数で1,578人増えており、回復の兆しを見せている。

成果目標達成に向けた対応策等

リニューアルしたホームページの内容を充実させるとともに、効果的な広報を行い、古湯・熊の川温泉及び佐賀市への誘客を図る。また、花火大会等の人気のイベントも、感染対策を徹底して開催することで、地域活性化、観光客誘致につなげる。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	熱気球大会開催事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の秋の風物詩であり、市民の誇り・文化となっている「佐賀国際バルーンフェスタ」を開催することにより、「熱気球の街さが」のイメージアップを図り、観光客の増加を促進する。				
事業の対象者	バルーン大会の来場者数（観客数、市民）				
令和3年度 主な活動実績	名称 2021佐賀国際バルーンフェスタ 期間 令和3年11月4日（木）～6日（土）（3日間） 参加機数 国内の68機 ※新型コロナウイルス感染症の影響により期間・規模を縮小した無観客の国内大会として開催				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	13,261	15,797			
うち佐賀市の負担額	348	14,107			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
経済波及効果						百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	7,000 -	7,000	7,000	7,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により無観客での開催となったことから、目標とする経済波及効果を計測することが困難であった。



成果目標達成に向けた対応策等
従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うとともに、様々な媒体を通じて市内外に対して広く広報を行う。また、新型コロナウイルス感染症に対応したイベントを企画することにより、安心してイベントを楽しんでもらえる環境作りを目指し、地域経済の活性化及び観光客誘致につなげる。

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	ECサイトによる市産品販売促進事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた市内経済を活性化させるため、域外からの誘客をすることなく持続的に消費を喚起する。 ・ECサイト内での広域販売 ・ECサイトへの誘導に向けた広報の実施 ・販売促進を図るキャンペーンの実施				
事業の対象者	市内事業者				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R3年度	年度	年度	年度	年度
事業費総額	8,500				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
ECサイトによる市産品の販売額					千円	
R3実績	実績	実績	実績	実績		
2,065						
活動実績②					単位	
実績	実績	実績	実績	実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の影響で売上が落ち込んだ事業者が取り扱う市産品を、新たにPR及び販売したことにより、売上の向上に寄与した。 今後は新たな商品の開発や工夫した広報による市産品の認知度向上に努め、事業者の経営改善を支援していく。

令和4年度 事務事業実績報告シート

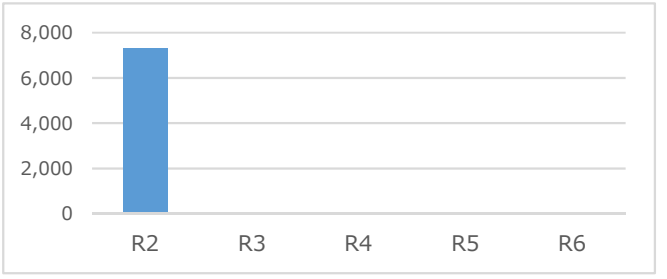
事務事業名	シュガーロードPR事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

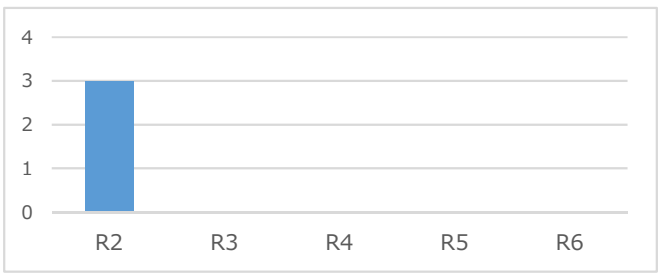
事業概要・目的	令和2年6月に日本遺産の認定を受けたシュガーロードについて、広く周知を行うことで関連消費の促進を図り、新型コロナウイルス感染症の流行により業績悪化している菓子・土産物等関連事業者の支援を行う。 【活動実績】 ・観光客（宿泊客）に対するPRグッズプレゼント 7,300個 ・菓子実演販売等PRイベント 3回				
事業の対象者	観光客及び市民、市内菓子事業者				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R3年度	年度	年度	年度	年度
事業費総額	11,994				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
PRグッズプレゼント個数					個
R3実績	実績	実績	実績	実績	
7,300					



活動実績②					単位
PRイベント回数					回
R3実績	実績	実績	実績	実績	
3					



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

PRグッズプレゼントにおいて宿泊客の居住地調査では、6割以上が県外からであり、対外的なPR効果があった。また菓子事業者からも喜びの声があり支援にもつながったと考える。

今後は、関係事業者と連携をしながら、シュガーロードをテーマとした情報発信やPRイベントを実施し、認知度向上及び誘客に繋げていく。

令和4年度 事務事業実績報告シート

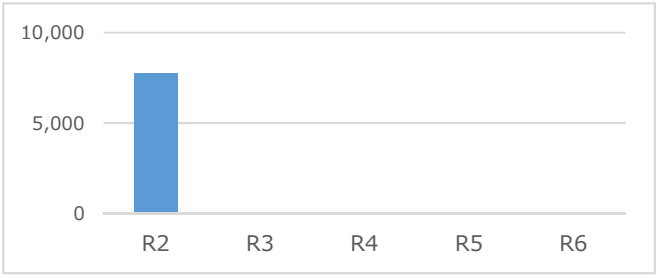
事務事業名	サガマチナカマツリ開催事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

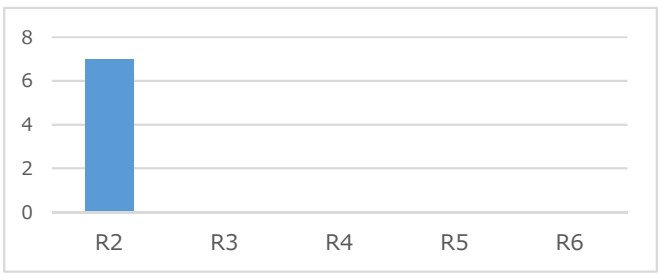
事業概要・目的	佐賀市の中心市街地を会場としてイベントを実施することで、街なかの賑わい創出を図るとともに、イベント関連事業者への支援にも繋げる。 【主なイベント実績】 ・サガマチナカマツリinスポテンSAGA2021（令和3年11月23日） 観客動員数 2,500人 ・サガバイフェス（令和3年12月11日、12日） 観客動員数 4,500人 ※上記の他、2イベント実施。				
事業の対象者	市民及びイベント関連事業者				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R3年度	年度	年度	年度	年度
事業費総額	28,036				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
観客動員数					人
R3実績	実績	実績	実績	実績	
7,722					



活動実績②					単位
イベント開催日数					日
R3実績	実績	実績	実績	実績	
7					



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

街なかを会場としてイベントを実施することで、街なかの賑わい創出及びイベント関連事業者への支援に寄与したと思われるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、想定していたよりもイベントを実施することができなかった。今後は、コロナ禍でも安心して楽しめるイベントの内容を模索していく必要がある。